

氏名	あはめど かどり ふせいん Ahmed kadry HUSSEIN
学位(専攻分野)	博士(学術)
学位記番号	博甲第412号
学位授与の日付	平成18年3月24日
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 機能科学専攻
学位論文題目	The Influence of the Mask Philosophy on Its Visual Characteristics (マスクの視覚的特性に対するマスク哲学の影響) (主査)
審査委員	教授 並木誠士 教授 太田喬夫 教授 大谷芳夫 大阪大学教授 大橋良介

論文内容の要旨

本論文「The Influence of the Mask Philosophy on its Visual Characteristics」は、以下のような内容である。

第1章では、全体の導入として、アフリカのマスクを中心とするマスク一般が現代芸術に影響を及ぼしてきたこと、芸術家の目にも限りない創作の源泉となってきたこと、さらに、マスクに関する研究史が、史的、地理的、心理学的、人類学的な背景にまで及ぶこと、などが述べられる。そのうえで、マスクがもつ心理的・視覚的な作用に関する分析はこれまでおこなわれていないことが指摘される。

第2章、第3章では、マスクのもつ特性を心理学用語である「ハロー効果」と呼ばれる作用について、幅広い事例を示しつつ詳述している。「ハロー効果」とは、ある事物についての判断や感情に影響を及ぼす、その事物がもつ視覚的な作用である。この「ハロー効果」について、それを生み出す要素として、象徴、色彩、触覚的質感、シンメトリー、歪み、誇張などを抽出し、また、それら諸要素を「豊饒化の要素」として総括して、事例にあてはめて考察をしている。とりあげている事例は、古代エジプトのマスクをはじめ、キリスト教・仏教・イスラムのスーフィズムなど幅広く、日本の兜なども視野に入れている。

第4章、第5章では、アフリカのマスクに限定して、その視覚的特徴を分析したうえで、そこで生み出されている「ハロー効果」について、Holiness、Purity、Power、Highnessといったカテゴリーに分けて論じている。

第6章は、第1章から第5章までの考察で得た「ハロー効果」を作品において実現するプロジェクトで、みずからの作品を提示しつつ、その技術的側面と「ハロー効果」の関係を論じている。

第7章は最終章で、あらためてマスクにおける「ハロー効果」について総括している。

論文審査の結果の要旨

(本論文「The Influence of the Mask Philosophy on its Visual Characteristics」は、著者みずからの作品制作経験を踏まえて、その理論化を企てるとともに、マスクがもつ視覚的作用ないしハロー効果というマスク研究のなかでこれまで取りあげられなかった空白部分を埋めようとするものである。

本論文の意義は、第一に、マスクをたんに顔につけるものだけに限定せず、全身を覆うものとして捉えている点にある。そして、そのうえで、古代エジプトから日本までのマスクと考えられる幅広い造形物を対象として、その造形的特性を抽出している点が第二の意義である。

本論文の第三の、そして、最大の意義は、心理学用語である「ハロー効果」を導入して、マスクの造形的特徴とそれが生み出す視覚的な効果を体系的に分析している点にある。「ハロー効果」という視点により、一見異質のように思える各地のマスクに見られる造形的特徴が、共通する視覚的な効果を目指したものであることが具体的に示されている。

以上のように、本論文は、マスクを対象として、その造形的な特徴と心理学的効果を結びつけた研究として、新しい視座を提供しており、注目に値する。

本論文の内容は、申請者による下記の学術学会誌の査読論文 2 編として公表される予定になっている。

①Ahmed Kadry Hussein “Halo Effect in the Mask: The Supremacy Influence in Visual Cognition”

Journal of Sudanese Psychological Society, 6 (2005) in press

②Ahmed Kadry Hussein “Halo effect in Religious Art in the Middle East and North Africa a comparative study ”

Journal of Asian and African Area Studies,5-2(2005) in press